

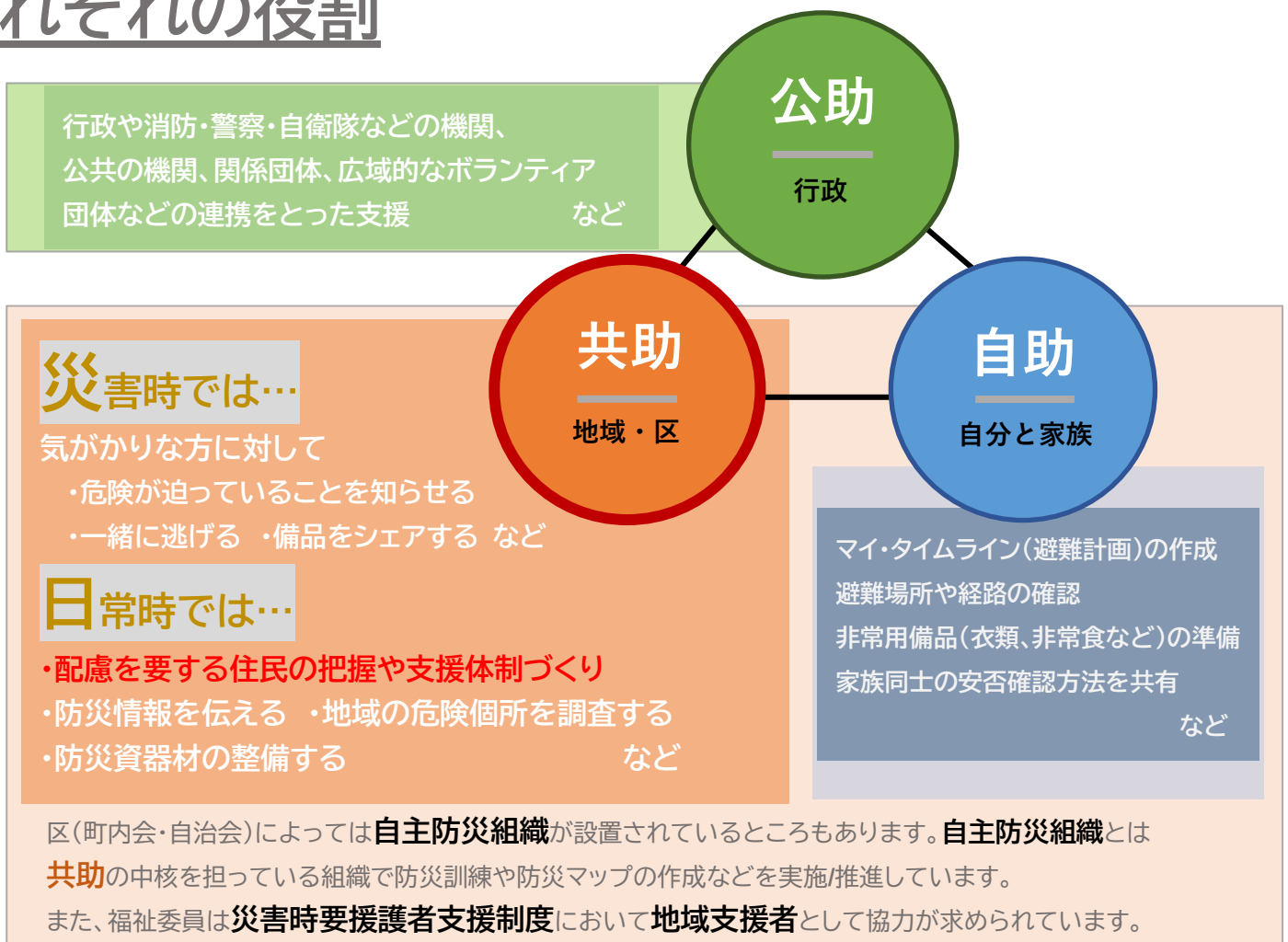
# ささえ愛

「ささえ愛」は、あなたの地域で活動する福祉委員に関する情報紙です

## 災害は『自助、公助』だけじゃない。『共助』がカギに。

防災には自助、公助、共助の3つの要素が重要とされています。ただ、阪神・淡路大震災の時には被災者の数は30万人以上に上りましたが、地震当日に対応できた自衛隊の数は約8千人のみでした。公助として国ができることにも物理的な限界があるため、地域コミュニティの共助がとても重要とされています。

### それぞれの役割



誰もが気になる防災。でも、どこか他人ごと。

誰もが手を取り合える地域になれば…

そうだ。気になるあの人に声かけてみようかな。

わたしたち福祉委員が出来ること

## ある日の様子

### ～高齢者宅の見守りをとおして～

先日、高齢者宅への見守り訪問の際に、新型コロナワクチン接種の予約方法と接種会場への移動手段について相談を受けました。それからすぐに、福祉委員の代表が集まる会議があり、情報交換をしたところ、近くの家族ケアマネジャーに相談するとよいとアドバイスをもらいました。後日、地区の福祉委員さんと、相談者宅を訪問して利用している施設を確認し、その足でその施設にも訪問すると、担当の方は、接種の予約や当日の送迎などを快く引き受けてくださいました。個人宅へのごまめな訪問はどうしても難しいですが、民生委員さんや福祉委員同士の情報交換や相談も見守りになるのかなと思います。困りごとを受けたら、早めの相談と行動でサポートしていきたいです。

私自身も、実家の母の介護をしており、たくさんの方のお世話になっています。高齢者になっても、安心して元気に暮らせる未来につながったらいいなと思います。

雄島南地区 山本 清美子

## きいてきたぞー

### ～福祉委員になって！～

福祉委員当初はどうしてよいかわからず肩に力が入ったものですが、2年目になるとやりがいを感じ始めています。コロナ禍のなか難しさはありますが「お変わりないですか!」「コロナの注射は?」などなど、訪問活動は格別なものです。また相談等で専門機関に繋ぎ、少しでも解決の方向性が見えてくると、嬉しくて増々、テンションが上がります。訪問では特に相手との距離感を大切にしているところですが、最近では相手というより自分が元気になっているようです。研修等で見守りの大切さやネットワークづくりなどお聞きしますが、まずは、よき理解者や仲間を増やし気軽に声を掛け合う雰囲気づくりから始めることをしています。最近ではお茶をしながら仲間づくりなんかもしていて、とても楽しく活動しています!

高椋東部地区 野村 松美

## ここで一言

福祉委員になって、5年目ですが、福祉委員とは名ばかりで、なにをどうすれば良いか、今でもわからずにいます。高齢者を見守りと一般的に言いますが、どこまで見守りをすれば良いか、いつも考え、迷っています。ただ、私の地区では、ふれあいサロンを開催し、福祉委員も運営に協力しています。そのため、サロンに来られた方々の様子を確認したり、サロンに来られなかった方の情報をチラッとご近所に聞いたりしています。それくらいしか出来ないですが、福祉委員の任期は2年です。「人が変わっても、だれでも出来ること、そして、続けていけることを」と思いながら、見守り活動をやっていきたいと思っています。

春江中部地区 北川 悦子

## 各支部連絡先

- 本部 TEL: 68-5070
- みくに支部 TEL: 82-1170
- まるおか支部 TEL: 68-5060
- はるえ支部 TEL: 51-4545
- さかい支部 TEL: 67-0699

当情報は坂井市社協ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.sakaicityshakyo.jp/>



## 編集後記

昨年から続いている新型コロナウイルス感染症の終息が見えないなかで、今年の夏は全国的な異常気象による集中豪雨災害が発生しました。幸いにも我々の住む坂井市は大きな影響がでていませんが、地震・豪雨等の自然災害については、いつ当事者になるかわかりません。私たちは、地区の福祉委員として、日常の見守り活動を続け、災害時に慌てずに、近隣情報の提供が出来るように心掛けたいと思います。

兵庫地区 内江 輝三